

# 国語科 《第1学年》年間指導計画

## 国語科 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

## 国語科 第1学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、感は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	言葉に出会うために (6時間)	・音声の動きや仕組みについて、理解を深めることができる。	・朝のリレー ・野原はうたう	知 音声の動きや仕組みについて、理解を深めている。 感 音声の動きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	話し言葉と書き言葉 (3~4年)
5	1 学びをひらく (11時間)	・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	・シンジュン ・情報を整理して書こう	知 登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。 集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。 思 場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。 目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。 感 場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。 集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。	読むこと 構造の内容と把握 (5~6年)
6	2 新しい視点で (13時間)	・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 ・自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。	・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって ・話の構成を工夫しよう	知 筆者の主張と事例との関係を理解している。 声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 思 序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。 聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。 感 進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	話すこと 表現 (3~4年)
	書写 (5時間) 読みやすく書くための楷書	・点画の種類を確かめ、筆使いに注意して楷書で書くことができる。	・漢字の筆遣い ・楷書に調和する仮名	知 点画の種類を確かめ、筆使いに注意して書いている。 感 学習課題に沿って進んで書こうとしている。	毛筆による書写 (3~6年)
	情報社会を生きる (3時間)	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。	・情報を集めよう ・情報を読み取ろう ・情報を引用しよう	知 グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。 感 引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	情報の整理 (3~4年)
7	3 言葉に立ち止まる (8時間)	・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。	・詩の世界 ・比較で広がる言葉の世界	知 詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 思 詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。 感 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。	読むこと 精査・解釈 (5~6年)
	読書生活を豊かに (2時間)	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。	・読書を楽しむ ・本の中の中学生	知 読書が、知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。 感 文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。	読書 (5~6年)
9	4 心の動き (16時間)	・場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。	・大人になれなかった弟たちに…… ・星の花が降るころに	思 場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。 感 進んで場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	読むこと 精査・解釈 (5~6年)
	漢字の組み立てと部首 (10分×5)	・漢字の部首について理解し、部首に注目して漢字の読み書きができる。	・漢字の組み立てと部首	知 代表的な部首とその名前を理解し、その部首を使った感じを書くことができる。	

10	書写〈3時間〉 読みやすく書くための楷書	・文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。	・文字の大きさと配列	知 進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え学習課題に沿って書こうとしている。	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。	毛筆による書写 (3~6年)
	5 筋道を立てて 〈17時間〉	・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。	・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・根拠を示して説明しよう ・話題や展開を捉えて話し合おう ・大阿蘇	知 自分の考えを整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、辞典の示し方に気をつけながら引用している。自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。 思 自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。 話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。 感 文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見直しをもってレポートを作成しようとしている。 積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見直しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。	情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、辞典の示し方に気をつけながら引用している。自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。 自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。 話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。 文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見直しをもってレポートを作成しようとしている。 積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見直しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。	書くこと 構成の検討 話すこと 話し合いの進め方の検討 (5~6年)
11	書写〈4時間〉 読みやすく速く書くための行書	・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書くことができる。	・行書の特徴 ・丸み・点画の連続	知 漢字の行書の基礎的な書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。 感 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。	毛筆による書写 (3~6年)
	6 いにしへの心に ふれる 〈7時間〉	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。	・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉	知 音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。 感 進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。	音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。 進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。	伝統的な言語文化 (5~6年)
12	書写〈4時間〉 読みやすく速く書くための行書	・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書くことができる。	・点画の変化	知 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。 感 進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。 進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	毛筆による書写 (3~6年)
	7 価値を見いだす 〈9時間〉	・根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	・「不便」の価値を見つめ直す ・助言を自分の文章に生かそう	知 意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。 思 立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。 感 積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。	意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。 立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。 積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。	書くこと 考えの形成 記述 (5~6年)
1	読書に親しむ 〈1時間〉	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。	・考える人になろう	知 読書の意義を理解している。 感 今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	読書の意義を理解している。 今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	読書 (5~6年)
	書写〈4時間〉 学んだことを活かして書こう	・これまでに学習した楷書・行書の書き方を活かして作品をつくることができる。	・書き初め	知 楷書・行書の特徴の違いを理解している。 感 学んだことを活かして、進んで作品づくりに取り組んでいる。	楷書・行書の特徴の違いを理解している。 学んだことを活かして、進んで作品づくりに取り組んでいる。	毛筆による書写 (3~6年)
2	漢字の成り立ち (10分×5)	・漢字の成り立ちについて理解し、漢字からその成り立ちを区別できる。	・漢字の成り立ち	知 漢字の成り立ちについて理解し、読み方や意味を予想することができる。	漢字の成り立ちについて理解し、読み方や意味を予想することができる。	
3	8 自分を見つめる 〈27時間〉	・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする ことができる。 ・根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫 することができる。 ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。	・少年の日の思い出 ・随筆二編 ・構成や描写を工夫して書こう ・一年間の学びを振り返ろう	知 場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。 体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。 声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。 思 登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。 書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。 聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。 感 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見直しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見直しをもって随筆を書こうとしている。 集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。	場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。 体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。 声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。 登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。 書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。 聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見直しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見直しをもって随筆を書こうとしている。 集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。	読むこと 考えの形成 書くこと 推敲 話すこと 表現・共有 (5~6年)

# 社会科 地理分野《第1学年》年間指導計画（55時間分）

## 社会科 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

## 社会科 地理分野の目標

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、主は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	学習内容	評価規準	小学校との関連	
4	世界の姿 6時間	世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追求したり解決したりする活動を通して、①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し、理解する。②世界の地域構成の特色を大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。③世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。という三つの資質能力を身に付ける。	1. 私たちの住む地球を眺めて 2. いろいろな国の国名と位置 3. 緯度と経度 4. 地球儀と世界地図の違い 5. 章の学習を振り返ろう	知	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し、理解している。	・ 私たちの国土（5年）  ・ 世界の中の日本（6年）
				思	世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
4  5	日本の姿 6時間	日本の地域構成を取り上げ、位置や分野などに着目して課題を追求したり解決したりする活動を通して①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し、理解させる。②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。という三つの資質能力を身に付ける。	1. 世界の中の日本の位置 2. 時差でとらえる日本の位置 3. 日本の領域とその特色 4. 都道府県と県境所在地 5. 章の学習を振り返ろう	知	我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。	・ 私たちの国土（5年） ・ わたしたちの生活と食料生産（5年） ・ わたしたちの生活と工業生産・情報化社会とわたしたち（5年）
				思	日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
6  7	人々の生活と環境 9時間	場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して課題を追求したり解決したりする活動を通して、①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。また世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。という三つの資質能力を身に付ける。	1. 世界のさまざまな生活と環境 2. 暑い地域の暮らし 3. 乾燥した地域の暮らし 4. 温暖な地域の暮らし 5. 寒い地域での暮らし 6. 高地の暮らし 7. 世界各地の衣食住とその変化 8. 人々の生活と宗教の関わり 9. 章の学習を振り返ろう	知	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。また世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。	世界の中の日本（6年）
				思	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。	
				主	世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	



# 社会科 歴史分野《第1学年》年間指導計画（50時間分）

## 社会科 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

## 社会科 歴史分野の目標

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、主は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	学習内容	評価規準	小学校との関連
5	歴史の流れと時代区分 3時間	①、小学校で学習した内容をもとに課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させ、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。 ②小学校での学習を踏まえて、歴史上の人物や文化財、出来事などと時代区分の関わりなどについて考察し表現させる。	1. 歴史をたどろう 2. 年代の表し方と時代区分	知 小学校で学習した内容をもとに課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させ、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	小学校との関連
				思 小学校での学習を踏まえて、歴史上の人物や文化財、出来事などと時代区分の関わりなどについて考察し表現している。	
				主	
6	人類の登場から文明の発生へ 6時間	①古代文明や宗教が起こった場所や環境などに着目して文明や宗教の特徴を比較して考察し、世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展、都市や巨大建造物、身分の分化などの共通する特徴があることに気づかせる。 ②ギリシャ・ローマ文明の政治制度について、現代につながる面と現代の民主主義とは異なる面の両面を踏まえて理解させる。	1. 人類がたどった進化 2. 世界各地で生まれる文明 3. 東アジアの文明の広がり 4. ギリシャとローマの政治と文明 5. 仏教・キリスト教・イスラム教の誕生	知 世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、世界の各地で文明が築かれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	縄文のむらから古墳のくにへ
				思 古代文明や宗教が起こった場所や環境に着目して、文明や宗教の特徴を比較して考察し、共通点に気付くなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主 世界の古代文明や宗教のおこりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
10	東アジアの中の倭（日本） 5時間	①日本列島において狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拜や農耕儀礼などにもとづく信仰が後の時代にもつながっていることに気づかせる。 ②古墳の大きさやその分布をもとに、ヤマト王権の勢力の広がりを大きくとらえ、東アジアとのかかわりについては、大陸から移住してきた人々のわが国の社会や文化に果たした役割に気づかせる。	1. 縄文時代を眺めてみよう 2. 縄文から弥生への変化 3. ムラがまとまりクニへ 4. 鉄から見えるヤマト王権	知 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰。大和政権による統一の様子と東アジアとのかかわりなどをとらえ、東アジアの文明の影響を受けながらわが国で国家が形成されていったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	縄文のむらから古墳のくにへ
				思 農耕の広まりや生産技術の発展に着目して、農耕広まりが生活や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主 日本列島における国家形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

10	中国にならった国家づくり 6時間	<p>①聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を大きくとらえさせ、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解させる。</p> <p>②大陸からもたらされた仏教が、わが国の文化のさまざまな面に影響を及ぼしたことに気づかせ、国際的な要素をもった文化が栄えたことを理解させる。</p>	<p>1. 奈良時代を眺めてみよう</p> <p>2. ヤマト王権と仏教伝来</p> <p>3. 律令国家を目指して</p> <p>4. 律令国家での暮らし</p> <p>5. 大陸の影響を受けた天平文化</p>	知	律令国家の確立に至るまでの過程をもとに、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	天皇中心の国作り
				思	東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	律令国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
10	展開する天皇・貴族の政治 4時間	<p>①摂関政治をもとに平安京における貴族の政治の特色をとらえさせる。</p> <p>②東アジアの情勢の変化によって、わが国でも政治と文化において独自の動きが見られるようになったことに気付かせる。</p> <p>③日本独自のかな文字が発明され、それを使った文学作品が書かれたことなどに気付かせ、文化の国風化が進んだことを理解させる。</p>	<p>1. 平安時代を眺めてみよう</p> <p>2. 権力を握った貴族たち</p> <p>3. 唐風から日本風へ変わる文化</p>	知	摂関政治をもとに、天皇や貴族による政治が展開したことを理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	天皇中心の国作り
				思	東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	古代の文化と東アジアとの関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
1	武士の世の始まり 6時間	<p>①武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解させる。</p> <p>②武家政治の特徴を考察し、天皇や貴族の政治との違いという観点から、古代から中世への転換の様子に気づかせる。</p>	<p>1. 鎌倉時代を眺めてみよう</p> <p>2. 各地で生まれる武士団</p> <p>3. 朝廷と結び付く武士</p> <p>3. 鎌倉を中心とした武家政権</p> <p>4. 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化</p>	知	鎌倉幕府の成立などをもとに、武士が台頭して、主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	武士の世の中
				思	武士の政治への進出と展開や貴族の政治との違いに着目して、武家政治の特徴を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代から中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	武家政治の成立とユーラシアの交流について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
1	武家政権の内と外 5時間	<p>①元寇がユーラシアの変化の中で起こったことなど、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解させる。</p> <p>②南北朝の争乱の中で室町幕府が成立し、武家社会が次第に大きな力をもっていったこと、日明貿易で銅銭が大量にもたされ、貨幣経済の発達を促したこと、琉球が日本、明や朝鮮、東南アジア諸国との中継貿易を行っていたことに気付かせる。</p>	<p>1. 海を越えて迫る元軍</p> <p>2. 南北朝の内乱と新たな幕府</p> <p>3. 東アジアの交易と倭寇</p> <p>4. 琉球とアイヌの人々がつながる交易</p>	知	元寇が国内に及ぼした影響、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などをもとに、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	武士の世の中
				思	東アジアの交流に着目して、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	
				主	武家政治の展開と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

1 2	人々の結びつきが強まる社会 6時間	<p>①農業など諸産業の発達や畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立が、当時の社会の大きな変化であることや、それとともに商品流通が活発化したことに気付かせる。</p> <p>②武家政治の展開や民衆の成長を背景とした多様な文化が生まれたことを理解させ、この時代の文化の中に現代に結びつくものが見られることに気付かせる。</p> <p>③各地に戦乱が広まる中で戦国大名が登場し、自らの領国を支配して分国法を定めたり、城下町を形成して産業の振興に努めたりしたことや、下剋上の風潮など、社会全体が大きく変化していったことに気付かせる。</p>	<p>1. 室町時代を眺めてみよう</p> <p>2. 技術の発達とさまざまな職業</p> <p>3. 団結して自立する民衆</p> <p>4. 全国に広がる下剋上</p> <p>5. 庶民に広がる室町文化</p> <p>5. 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の慧氏、応仁の乱後の社会的な変動などをもとに、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>農業や商工業の発達に着目して、民衆の成長が社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>民衆の成長と新たな文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	今に伝わる室町文化
3	大航海によって結びつく世界 4時間	<p>①ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きとともに、鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり、それらが日本の社会に影響を及ぼし、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。</p> <p>②新航路の開拓の背景となるアジアの交易の状況やムスリム商人などの役割と世界の結びつきに気付かせる。</p>	<p>1. ヨーロッパの変革</p> <p>2. 大航海時代の幕開け</p> <p>3. 東アジアの貿易と南蛮人</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>ヨーロッパ人來校の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>交易の広がりとその影響にちやくもくして、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察</p> <p>世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	戦国の世界から江戸の世へ
3	戦乱から全国統一へ 5時間	<p>①織田信長が行った仏教勢力への圧迫や関所の撤廃、豊臣秀吉が行った検地・刀狩などの政策によって、中世の大きな勢力が力を失ったことや、中世までとは異なる社会が生まれていったことなどの大きな変化に気付かせる。</p> <p>②当時の対外関係として、東南アジアなどとの積極的な貿易、キリスト教への対応、朝鮮への出兵などがあつたことを取り上げる。</p> <p>③南蛮文化が取り入れられる一方、生活に根ざした文化が広がり、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪華・華麗な文化が生み出されたことに気付かせる。</p>	<p>1. 安土桃山時代を眺めてみよう</p> <p>2. 信長・秀吉による全国統一</p> <p>3. 秀吉が導いた近世社会</p> <p>4. 戦国大名と豪商が担った桃山文化</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>統一政権の諸政策の目的に着目して、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響</p> <p>統一事業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	戦国の世界から江戸の世へ

# 数学科 《第1学年》年間指導計画

**数学科 教科目標** 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 事象を数学を活用して論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

## 数学科 第1学年の目標

- (1) 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

## 第1学年年間指導計画（評価規準）

★ **知**は、数量や図形などについての知識・技能

**考**は、数学的な思考・判断・表現

**態**は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	重点目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	ガイダンス <1時間>	数学科学習について、意欲を高める	数学科学習の意味・意義	<b>態</b> 数学科学習に対して関心をもち、意欲を高めようとしている。	
4	1. 整数の性質 <4時間>	整数の性質を素因数分解によって捉え直し、整数の性質を具体的な場面で使うことができる。 整数の性質のよさに気づいて粘り強く考え、学んだことを生活や学習に活かす。	1. 整数の性質	<b>知</b> 自然数、素数、素因数、素因数分解の意味を理解し、それを使って最大公約数や最小公倍数を求めることができる。 <b>考</b> 自然数を素因数分解することにより、約数、倍数などの整数の性質をとらえ直すことができる。 <b>態</b> 素因数分解を使って、最大公約数や最小公倍数を求めようとしている。	整数の性質 約数、倍数
5	2. 正の数、負の数 <25時間>	正の数と負の数の必要性和意味を理解し、四則計算ができたり、具体的な場面で正の数、負の数を使って表したり処理したりできる。 算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現したり、具体的な場面で活用したりできる。	1. 正の数、負の数 2. 加法と減法 3. 乗法と除法 4. 正の数、負の数の活用	<b>知</b> 正の数、負の数の必要性和意味及びその四則計算の意味などを理解し、正の数、負の数の四則計算ができる。加法や乗法の交換法則や結合法則、累乗の意味を理解し、いくつかの数の和や積を求めることができる。 <b>考</b> 正の数、負の数で学習したことを活用しながら、見通しをもって事象を論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な思考や判断ができる。 <b>態</b> 正の数、負の数のよさや必要性和意味を実感し、それを活用して考えたり判断したりしようとしている。	四則計算 小数、分数の計算
6	3. 文字と式 <20時間>	文字を使うことの必要性和意味を理解し、文字を使った式における乗法と除法、簡単な一次式の加法と減法の計算、数量の関係や法則などを文字を用いた式に表したり読み取ったりできる。 具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。	1. 文字の使用 2. 式の計算 3. 式の活用 4. 数量の関係を表す式	<b>知</b> 文字を使うことの必要性和意味を理解し、文字を使った式を正確に計算したり、式の意味を読み取ったり、数量関係を等式、不等式で表現できる。 <b>考</b> 文字を使った式で学習したことを活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりすることができる。 <b>態</b> 文字を使うことの必要性和意味を考えようとしている。いろいろな数量や数量関係を文字を使った式で一般的にかつ簡潔に表そうとしている。事象を考察するために、文字を使った式の意味を読み取ろうとしている。	□、△などの記号や $x, a$ などの文字を用いた式



8 9	4. 方程式 <20時間>	方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解し、方程式を解くことができる。等式の性質をもとにして、方程式を解く方法を考察し、表現することができる。方程式を具体的な場面で使うことができる。方程式について学んだことを、生活や学習に活かそうとしたり、方程式を使った問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。	1. 方程式とその解き方 2. 方程式の活用	知 考 態	方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。等式の性質を理解し、それを使って式を変形することができる。移項の意味を理解し、移項の考えで方程式を正確にかつ能率的に解くことができる。方程式を活用して問題を解決する方法を理解している。 方程式で学習したことを活用しながら、具体的な場面で、使うことができる。事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりしている。 方程式の必要性和意味を考えようとしている。方程式を活用して考えたり判断したりしようとしている。	
10 11	5. 比例と反比例 <20時間> 10/6~12 <10分×5> 朝学習(計算演習)	関数関係や座標の意味、比例・反比例について理解し、の意味を理解し、その関係を、表、式、グラフなどに表すことができる。比例・反比例として捉えられる二つの数量について調べ、その変化や対応の特徴を見だし、その具体的な事象を捉えるなどして、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。	1. 関数 2. 比例 3. 反比例 4. 比例と反比例の活用	知 考 態	関数関係の意味、比例や反比例の意味、座標の意味、比例や反比例の特徴を理解している。比例・反比例の関係を、表、式、グラフに的確に表すことができる。 比例、反比例で学習したことを活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し、表現したり、その過程を振り返って考えたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 関数関係、比例・反比例の関数に関心をもち、それを活用して考えたり、判断したりしようとしている。	比例反比例に伴って変わる数量の関係
11 12	6. 平面図形 <20時間>	基本的な作図の方法、図形の移動を理解し、作図や図形の移動を行うことができる。図形の性質に着目し、基本的な作図の方法や二つの図形の関係について、考察・表現し、図形の作図や移動を具体的な場面で活用するなどして、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。	1. 平面図形の基礎 2. 作図 3. 図形の移動 4. 円とおうぎ形の計量	知 考 態	平面図形の性質、基本的な作図の方法、図形の移動の方法を理解し、その技能を身につけている。円周率の意味を理解し、円やおうぎ形の計量がで 平面図形で学習したことを活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 基本的な作図や図形の移動に関心をもち、それを活用して考えたり判断したりしようとしている。	図形の性質 長さ、面積、など図形の計量
1 2	7. 空間図形 <18時間>	空間における図形の位置関係や、図形の計量方法を理解し面積や体積等を求めることができる。空間図形を直線や平面の運動により構成されるものとして捉えたり、それを平面上に表現し、そこから空間図形の性質を見いだしたり、面積や体積の求め方を考察するなどして、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。	1. 空間図形の基礎 2. 立体の見方と調べ方 3. 立体の体積と表面積	知 考 態	空間図形の性質、空間における図形の位置関係、図形の計量の仕方などを理解している。空間図形を平面上に表現したり、図形の計量を行ったりすることができる 空間図形で学習したことを活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 空間図形の平面上への表現や図形の計量に関心をもち、それらを活用して考えたり判断しようとしている。	体積など図形の計量
2 3	8. データの分析 <12時間>	ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解し、データを表やグラフに整理できる。また、多数の観察や多数回の試行により得られる確率の必要性和意味を理解する。データを収集・分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察・判断したり、観察・試行の結果を基にして不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現するなどして、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。	1. 度数の分布 2. データの活用	知 考 態	ヒストグラムや代表値や相対度数の必要性和意味理解している。資料を表やグラフに整理したり、代表値を適切に求めたり、累積度数を求めることができる。 資料の散らばりと代表値で学習したことを活用しながら、データの分析を行い、その傾向を読み取り、適切に表現することができる。データについて、論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 様々な事象についての資料を収集して整理したり、その傾向をよみとったりすることに関心をもち、それらを活用して考えたり判断したりしようとしている。	資料の整理 平均値、中央値、最頻値、階級などの代表値

※ 教科書の巻末の課題等を活用し、単元のまとめや課題学習を適宜行う。

# 令和5年度理科 《第1学年》年間指導計画

## 理科 教科の目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

## 理科 第1学年の目標

- (1) 身近な植物についての観察、実験を通して、生物の調べ方の基礎を身に付けるとともに、植物のつくりと働きや動物の仲間を理解し、動物、植物の種類やその生活についての認識を深める。
- (2) 身のまわりの物質についての観察、実験を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解するとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付ける。
- (3) 身近な事物・事象についての観察、実験を通して、光や音の規則性、力の性質について理解するとともに、これらの事象・現象を日常生活と関連付けて科学的な見方や考え方を養う。
- (4) 大地の活動の様子や身近な地形、地層、岩石などの観察、地震の観測記録などの分析を通し、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解する。また、自然の恵みと火山・地震災害について理解し、自然現象について日常の現象と関係づけて考える。

★ 主は、主体的に学習に取り組む態度、思は、思考・判断・表現、知は、知識・技能

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	ガイダンス	理科学習について意欲を高める	理科学習の意義 理科室使用のルール	主 意欲的に取り組もうとする。	
5	1 生物の世界 〈26時間〉	身近な植物の観察、実験を通して、生物の調べ方の基礎基本を身に付けさせるとともに、いろいろな生物が様々な場所で環境と関わりながら生活していることに、気付かせ、生物とそれを調べることに対する興味・関心を喚起する。また、植物のはたらきを、観察、実験の結果を分析し解釈させることを通じて理解させる。さらに、動物の仲間について理解させる。動物や植物の比較から得られた情報を整理し、動物や植物の生活と種類についての認識を深める。	1章 身近な生物の観察  2章 植物のなかま  3章 動物のなかま	主  思  知	身近な自然の観察（3年） 植物の成長と体のつくり（3年） 植物の成長と季節（4年） 植物の発芽、成長、結実（5年） 植物の養分と水の通り道（6年）
6					
7					
8					
9	2 物質のすがた	身のまわりの物質について進んで関わり、目的意識をもって、観	1章 身のまわりの物質と	主 物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事物・現象に進んで関わり、それらを科	物と重さ（3年） 空気と水の

10  11  12  1	〈26時間〉	<p>察、実験を行い技能を習得し、観察、実験の結果を分析して解釈し表現する方法を身に付けさせる。また、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について日常生活と関連付けて理解し、物質に対する見方や考え方を養う。</p>	その性質	思	学的に探究するとともに、事象を日常生活との関わりでみようとする。	性質 (4年) 金属、水、空気の温度 (4年) 物の溶け方 (5年) 燃焼の仕組み (6年) 水溶液の性質 (6年)
			2章 気体の性質		物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	
			3章 水溶液の性質		物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事物・現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
2  3	3 身近な物理現象  〈26時間〉	<p>光や音、力などの日常生活と関連した身近な事物・現象に関わる観察、実験を通して、光や音の規則性や力の性質について理解するとともに、これらの事物・現象を日常生活や社会と関連づけて科学的に見る見方や考え方を養い、光・音・力のはたらきに対する興味・関心を高める。</p>	1章 光の性質	主	光と音、力に関する事物・現象について進んで関わり、それらを科学的に探究し、事象を日常生活との関わりでみようとする。	風やゴムの働き (3年) 光の性質 (3年) 磁石の性質 (3年) てこの規則性 (6年)
			2章 音の性質		光と音、力と圧力に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	
			3章 力のはたらき	光と音、力に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、光と音、力に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている		
10  11  12  1	〈27時間〉	<p>大地で起こる様々な事物・現象を、身近な地形、地震の観測記録、地層、岩石などの観察などの分析を通して、それらのしくみと大地の変化を関連付けて考える科学的な見方や考え方を養う。</p>	1章 火山	主	火山、地震、地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象に進んで関わり、それらを科学的に探究するとともに、自然の保全に寄与しようとする。	流水の働き (5年) 土地のつくりと変化 (6年)
			2章 地震		火山、地震、地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象のなかに問題を見いだ	
			3章 地層			

		<p>また、自然に対する興味・関心を高めるとともに、探究意欲と自然の調べ方の基礎を身に付けさせる。さらに、様々な大地の変化が実社会・実生活と関連していることを認識し、理科を学ぶことの意義と有効性を理解させる。</p>		<p>し、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。</p>	
			知	<p>火山、地震、地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、火山、地震、地層の重なりと過去の様子についての基本的な概念や規則性、関連性などを理解し、知識を身に付けている。</p>	

# 令和5年度音楽科《第1学年》年間指導計画

## 音楽科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

## 音楽科 第1学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

【知】は、知識及び技能 【思】は、音楽の思考力、判断力、表現力等、【学】は、学びに向かう力

月	題材名 (配当時間)	指導目標	指導内容 共通事項	評価規準	小学校との関連
4	曲種に応じた発声を身につけ、言葉の特性やフレーズを感じ取って歌おう。  <6時間>	曲種に応じた発声を身につけ、歌詞を伝える意識や旋律のまとまりを感じ取り、工夫をして歌うことができるようにする。	・歌詞の内容や旋律のまとまりを感じ取りながら、思いや意図をもって歌わせる。 旋律 リズム 強弱 小学校で学んだ記号 拍子 フレーズ 音階 Moderato 調	【知】 曲種に応じた発声やフレーズを生かした歌唱表現をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。	・呼吸及び発音の仕方を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 (歌唱・表現5、6年)
5	「校歌」 「エーテルワイス」 「パフ」			【思】 曲種に応じた発声や旋律のまとまりに思いや意図をもって表現を工夫している。	・範唱を聴いたり、八長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌うこと。 (歌唱・表現5、6年)
6	音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴こう。  <2時間> 「春 第1楽章」	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ることができるようにする。 ・要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴くことができるようにする。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関連に関心をもち、自分なりの考えを言葉で説明できるようにする。	・音楽を形づくっている要素(音色、旋律、テクスチャ、形式)の動きを知覚させ、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じさせる。 ・解釈したり、価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを味わわせ、言葉で説明させる。 音色 旋律 テクスチャ 形式 Allegro	【思】 ①要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②要素や構造と曲想との関わりを感じ取り、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。 (鑑賞5、6年)
7	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。  <2時間> 「浜辺の歌」	・音楽を形づくっている要素を知覚し、拍子や速度が生み出す雰囲気、歌詞の内容と強弱の変化との関係を感じ取って表現を工夫することができるようにする。	・音楽を形づくっている要素(リズム、旋律、構成)の動きを知覚させる。 ・音楽の構成を理解させる。 リズム 旋律 構成 拍 拍子 フレーズ 音階 全休符 2分休符 三連符 反復記号	【知】 リズム、旋律のつながり方、構成を生かして、創作するために必要な技能を身に付けて、旋律をつくっている。	・各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。 (歌唱・表現5、6年)
8	【合唱コンクールに向けての取り組み】 混声三部合唱に取り組もう。 <14時間>	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようにする。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようにする。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようにする。	・歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。 ・曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。 ・声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。 音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 構成 フォー 和音 rit. a tempo pp ff dim. テヌート フェルマータ Andante Moderato	【知】 混声三部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。	・歌詞の内容、曲想を生かした表現の工夫し、思いや意図をもって歌うこと。
9	「(未定)」 学級の雰囲気合わせた曲選び。 など			【思】 ①歌詞の内容や曲想。 ②発声や言葉の特性。 ③声部の役割や全体の響きを知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。	・呼吸及び発音の仕方を工夫して、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うこと。
				【学】 ①歌詞の内容や曲想。 ②発声や言葉の特性。 ③声部の役割や全体の響きに関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。	・各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。 (歌唱・表現5、6年)

10	日本の歌の美しさを感じ取って歌おう。 〈2時間〉 「赤とんぼ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞や旋律との関わりを感じ取りながら曲のもつ情緒を味わい、表現を工夫することができるようにする。</li> <li>曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞や旋律との関わりを感じ取らせ、曲の持つ情緒を味わわせながら表現を工夫させる。</li> <li>曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。</li> </ul>	知	歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 (歌唱・表現5、6年)
	11	歌唱表現の特徴を感じ取って聴こう。 〈2時間〉 「魔王」	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱表現の特徴を感受できるようにする。</li> <li>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ることができるようにする。</li> <li>要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴くことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱表現の特徴を感受させる。</li> <li>音楽を形づくっている要素(音色、旋律、強弱)の働きを知覚させ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じさせる。</li> <li>解釈したり、価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを味わわせ、言葉で説明させる。</li> </ul>	思	
12		日本やアジアの諸民族の音楽に触れ、そのよさを味わおう。 〈4時間〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて聴くことができるようにする。</li> <li>我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について関心を持って聴くことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けさせる。</li> <li>我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について関心を持ち、言葉で説明させる。</li> </ul>	学	①要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 ②歌唱表現の特徴、要素や構造と曲想との関わりを感じ取り、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
	1	箏の特徴を感じ取って聴こう 〈2時間〉 「六段の調」	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ることができるようにする。</li> <li>我が国の音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて聞くことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素(音色、速度、旋律)の働きを知覚させ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じさせる。</li> <li>解釈したり、価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを味わわせ、言葉で説明させる。</li> </ul>	学	①要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 ②要素や構造と曲想との関わりを感じ取り、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
2		箏の基礎的な奏法を身に付けよう 〈3時間〉 「さくらさくら」	<ul style="list-style-type: none"> <li>箏の特徴を捉え、基礎的な奏法を身に付けて演奏できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>箏の音色や奏法の特徴を理解させる。</li> <li>箏の基礎的な奏法を身に付けさせる。</li> </ul>	知	箏を演奏するために必要な基礎的な奏法を身に付けて演奏している。
	3	感謝の気持ちを合唱で届けよう 【卒業式に向けての合唱曲】 〈8時間〉 「未定」 「校歌」 「杉並区歌」 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようにする。</li> <li>曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようにする。</li> <li>声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。</li> <li>曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。</li> <li>声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。</li> </ul>	知	混声三部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。
				思	①歌詞の内容や曲想 ②発声や言葉の特性 ③声部の役割や全体の響きを知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現の工夫をしている。	①歌詞の内容や曲想 ②発声や言葉の特性 ③声部の役割や全体の響きに関心を持ち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。



# 令和5年度美術科<第1学年>年間指導計画

## 美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

## 美術科 第1学年の目標

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようになる。
- (2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする
- (3)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

知は、知識及び技能、**思**は、美術の思考力、判断力、表現力等、**学**は、学びに向かう力

月	題材名(配当時間)	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4月	美術オリエンテーション『出会って広げよう』 <1時間> 鑑賞	美術科学習に向けて意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>心構え、授業内容の説明</li> <li>年間授業内容・評価方法などの説明</li> <li>美術の授業へのアンケートの実地</li> <li>表現の自由について理解を深める。</li> </ul>	<b>思</b> 造形的な良さを感じ取り、作者の心情や表現の意図などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	
	はじめの鑑賞 <1時間> 鑑賞	作品を見つめ考えて味わう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術作品を鑑賞し、作品の造形的な良さや美しさを味わい作者の思いを考える。</li> </ul>	<b>学</b> 作品に関心をもち進んで活動を行う。 <b>思</b> 感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、表現の工夫を味わう。	5・6上 「じっと見つめてみると」
5月	明暗の差を見つけよう ～デッサンを通して、鉛筆の使い方を 知ろう～ <3時間> 平面・絵画	<p>対象をみつめ丁寧に観察し、明暗の差に気づく。</p> <p>対象の特徴を捉え、画材の特徴を生かしながら表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのものを見つめ主体的にデッサンを行う。</li> <li>作品づくりのために画家が制作したスケッチを鑑賞する。(資料集p.22～p.23)</li> <li>鉛筆の使い方について学ぶ。(資料集p.24)</li> </ul>	<b>学</b> 身近なもののデッサンに関心をもち、主体的に創意工夫してあらわしたり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。 <b>知</b> 身近なもののから感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し構想を練っている。 <b>思</b> 表したい対象のイメージをもちながら意図に応じて描画材料の生かし方などを考え創意工夫して表現している。身近なものの特徴や、良さや美しさ、主題と表現の工夫などを感じ取り自分の思いや考えをもって味わっている。	
	立体的に描く方法 ～透視図法で空間表現～ <4時間> 平面・デザイン	透視図法を学び、表現の幅を広げる。 透視図法を通して、デッサンの技法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1点透視、2点透視、3点透視図法を学び、奥行きのある空間表現ができるようになる。</li> </ul>	<b>学</b> 透視図法に関心をもち、積極的に活動に取り組んでいる。 <b>知</b> 透視図法を理解し、立体感を表現できている。	
7月	色を学ぼう。 ～絵の具で表現しよう～ <4時間> 平面・デザイン	色に関する知識を深める 得た知識を基に主題に合わせて表現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の三要素(色相・明度・彩度)色の対比、色の感じ、補色などについて学ぶ。</li> <li>ポスターカラーの使い方や、筆の種類、効果的な塗り方、パレットの使用方法。水場の使い方について学ぶ。</li> <li>学んだことを生かし表現する。</li> </ul>	<b>学</b> 不透明水彩を基にした表現に関心をもち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。 <b>知</b> 主題を生み出し、色彩の効果をいかして、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練っている。主題に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現している。 <b>思</b> 主題の表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。	
	いろいろな表現方法 ～モダンテクニックで表現しよう～	表現に関する知識を深める 得た知識を基に	<ul style="list-style-type: none"> <li>モダンテクニックを学び、作品制作に生かせるようにする。</li> </ul>	<b>学</b> 不透明水彩を基にした表現に関心をもち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	

8月	〈4時間〉 平面・デザイン	主題に合わせて表現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な表現を組み合わせることができるようにする。</li> </ul>	知	主題に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現している。	
	楽しく伝える文字のデザイン。 〈4時間〉 平面・デザイン	レタリングの技法を習得し、字体の書き分けができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色から受ける印象やその違いについて考える。</li> <li>・伝えたい内容を基に、文字の形の効果を考える。</li> <li>・レタリングの基本的技能を身につけ表現に生かす。</li> </ul>	学 知 思	<p>文字の伝達表現に関心を持ち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。</p> <p>字体の特徴をしっかりと捉え文字に対応して描き分けることができている。枠に収まるように崩れないように大きく描くことができている。</p> <p>伝えたい文字の美しさの調和、伝える人に対する作者の心遣いなどを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。</p>	5・6上 「伝え合いたい思いや気持ち」
10月	パンフレットを紹介しよう。〈1時間〉 鑑賞	夏休み中に制作したパンフレットを紹介し、それぞれの良さを味わいながら鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中に制作したパンフレットを紹介し、お互いの作品を鑑賞しあう。</li> </ul>	学 思	<p>パンフレット制作に関心をもち、主体的に創意工夫して表し、お互いの作品を鑑賞し良さを考えることができています。</p> <p>互いの作品の良さや工夫を感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。</p>	
	文字で自分を表現しよう。〈5時間〉 平面・デザイン	自分の名前を文字で表現し、名前に込められた意味を絵文字で表現することを通して、作品の主題を考え表現に生かすことができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レタリングの技法を生かし、名前に込められた意味を考えながら見る人に伝わるように形や色を工夫してデザインする。</li> </ul>	学 知 思	<p>絵文字での表現に関心をもち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。</p> <p>レタリングの技能を正しく活用し、字体の特徴を捉えながら描くことができる。</p> <p>名前に込められた意味をしっかりと考え、見た人に伝わるようにデザインに生かすことができる。</p> <p>互いの作品の良さや工夫を感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。</p>	
11月	MY キャラクターデザイン 〈3時間〉 平面・デザイン	コンセプトに合ったキャラクターをデザインすることを通して、主題を捉えて表現に生かすことを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを決めてオリジナルキャラクターをデザインする。</li> <li>・見る側の気持ちを考え、コンセプトが伝わるようなデザインをする。</li> </ul>	学 知 思	<p>キャラクターデザインに関心をもち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。</p> <p>見る側の気持ちを考え、コンセプトに沿ったデザインをする。創造的な構成を工夫し、構想を練っている。</p> <p>デザインやコンセプトを踏まえて、見る人に伝わるように表現している。</p> <p>対象のイメージ、主題と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。</p>	
	アニマルマスク 作品に命を吹きこもう。 〈8時間〉 立体・デザイン	動物をよく観察し、特徴をとらえてデザインする。また、様々な角度からモチーフを捉え立体的に制作する技能を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モチーフをよく観察し、特徴を捉える。</li> <li>・芸術作品の要素を足したデザインを構想する。</li> <li>・紙の特性を生かして、加工方法や用具などを適切に考えて制作する。</li> <li>・互いの作品の良さや工夫を感じる。</li> </ul>	学 知 思	<p>デザイン表現に関心をもち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。</p> <p>使用する者の気持ちなどから形的美しさなどを考え、造形の構想を練っている。</p> <p>表したいイメージを持ちながら意図に応じて用具の特性をいかし制作の順序などを考え創意工夫して表現している。</p> <p>美しさや、作品を持つ人への作者の心遣いを自分の思いや考えをもって味わっている。</p>	
2月	日本の美意識 〈6時間〉 粘土・立体	目的や条件などを基に日本の美意識を生かした構成や装飾を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和菓子という素材を通して、使用する者(渡す相手)の気持ちや機能、夢や想像、造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練る。</li> <li>・デザインを通じ人を思いやる気持ちを学ぶ。</li> </ul>	学 知 思	<p>振り返りシートにしっかりと自分の考えを書くことができていますか。</p> <p>季節やおもてなししたい相手を意識して和菓子を考えることができたか。</p> <p>季節やおもてなし表すために工夫して表現することができたか。</p> <p>自分の制作を振り返り、自他の作品の良さを見つけて言葉で表すことができたか。</p>	
3月	一年間を振り返ろう。 〈1時間〉 表現・鑑賞	美術への意識や自分の成長を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前授業で制作したオノマトペかかると、1年間を通して学んだことや成長したことに近いイメージを選び(類推思考)、グループで発表する。</li> <li>・今後の美術との関りをテーマに、色紙を使って色と形で表現する。</li> </ul>	学 知 思	<p>自分の表現したことに関して、丁寧に説明し伝えることができる。</p> <p>目的や条件などを基に、色紙の加工方法や、形、色彩の効果をいかして、構成や装飾を考え、表現の構想を練っている</p> <p>表したいイメージを持ちながら意図に応じて色と形を工夫して表現している。</p> <p>互いの作品の良さや工夫を感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。</p>	



# 保健体育科 《第1学年》単元指導計画

## 保健体育科 教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。

## 保健体育科 第1学年の目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性を理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

★**知**は、「知識及び技能」**思**は、「思考力、判断力、表現力」、**主**は、「主体的に取り組む態度」

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	体づくり運動 〈7時間〉	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。	体ほぐしの運動 体力を高める運動 新体力テスト	<b>知</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解している。</li> <li>○目的に適した運動を身に付け、組み合わせている。</li> </ul> <b>思</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> <li>○自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <b>主</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体づくり運動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>○仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>○一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしている。</li> <li>○話し合いに参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくりの運動 1年～6年</li> <li>・体ほぐしの運動② 1年～2年</li> <li>・多様な動きをつくる運動遊び</li> <li>・力試し、用具 3年～4年</li> <li>・多様な動きをつくる運動⑥⑦ 5年～6年</li> <li>・体力を高める運動⑤⑥</li> </ul>
4 5	陸上競技 〈9時間〉	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けつける。短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることを目指す。	短距離走 リレー	<b>知</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○短距離走・リレーの特性や成り立ち、技術の名称や行い方その運動に関連して高まる体力などを理解している。</li> <li>○基本的な動きや効率のよい動きを身に付けている。</li> </ul> <b>思</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の課題を発見している。</li> <li>○運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <b>主</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○勝敗などを認め、ルールやマナーを守っている。</li> <li>○分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>○健康・安全に気を配る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走の運動遊び⑥⑦ 1年～2年</li> <li>・跳の運動遊び③④ 3年～4年</li> <li>・かけっこ、リレー</li> <li>・幅跳び④⑤高跳び④⑤ 5年～6年</li> <li>・短距離走、リレー⑤</li> <li>・ハードル走④</li> <li>・走り幅跳び④</li> <li>・走り高跳び④</li> </ul>
6	球技 ベースボール型ソフトボール 〈8時間〉	基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防する。 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする。	ソフトボール	<b>知</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バットを操作してボールを強く打つことができる。</li> <li>○捕る、投げるなど基本的な動きを理解している。</li> <li>○仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。</li> </ul> <b>思</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作戦など自己の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <b>主</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○フェアなプレイを守ろうとする。</li> <li>○一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとしている。</li> <li>○仲間の学習を援助しようとする。</li> <li>○健康・安全に気を配る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール遊び、ボールゲーム⑥⑧ 1年～2年</li> <li>・ベースボール型ゲーム⑧ 3年～4年</li> <li>・ベースボール型⑥ 6年</li> </ul>
6	水泳 〈9時間〉	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を	クロール 平泳ぎ	<b>知</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水に慣れる遊び、浮く、もぐる遊び⑧ 1年～2年</li> </ul>

7		身に付けることができるようにする。手と足、呼吸のバランスをとりクロールでは、速く泳ぐこと、平泳ぎでは長く泳ぐこと。		<input type="checkbox"/> 平泳ぎとクロールは手と足の動き、呼吸のバランスを取りより早く泳げるか。 <input type="checkbox"/> 泳法などの自己の課題を発見して合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 <input type="checkbox"/> 水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に取り組んでいるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 浮く運動、泳ぐ運動 3年～4年</li> <li>• クロール、平泳ぎ②⑧ 5年～6年</li> </ul>
8 9	器械運動 <7時間>	技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。マット運動では回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせること。	マット運動	<input type="checkbox"/> 技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解している。 <input type="checkbox"/> 基本的な技を滑らかに行い、それらを組み合わせることができる。 <input type="checkbox"/> 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 <input type="checkbox"/> 自己の考えを他者に伝えている。 <input type="checkbox"/> よい演技を認めている。 <input type="checkbox"/> 中間の学習を援助している。 <input type="checkbox"/> 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• マットを使った運動遊び 1年～2年</li> <li>• 跳び箱を使った運動遊び 3年～4年</li> <li>• マット運動⑤</li> <li>• 跳び箱運動⑤</li> <li>• マット運動④⑤</li> <li>• 跳び箱運動④⑤ 5～6年</li> </ul>
10	武道 <7時間>	武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて投げたり抑えたりすること。相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする。	柔道	<input type="checkbox"/> 伝統的な考え方、技の名称や行い方、それに関連して高まる体力などを理解している。 <input type="checkbox"/> 相手の動きに応じた基本動作や技を用いて投げたり抑えたりすることができる。 <input type="checkbox"/> 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 <input type="checkbox"/> 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守っている。 <input type="checkbox"/> 分担した役割を果たしている。 <input type="checkbox"/> 禁止技を用いないなど健康・安全に気を配っている。	
11	球技 ゴール型 ハンド ボール <8時間>	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、特性や成り立ち、技術の名称や行い方、運動に関して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。	ハンドボール	<input type="checkbox"/> ハンドボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解している。 <input type="checkbox"/> パスやドリブルなどの基本的なボール操作と空間に走り込むなどの動きができる。 <input type="checkbox"/> 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 <input type="checkbox"/> 自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <input type="checkbox"/> 練習やゲームなどに積極的に参加している。 <input type="checkbox"/> 作戦などの話合いに参加している。 <input type="checkbox"/> 健康・安全に気を配っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ゴール型ゲーム⑩ 3年～4年</li> <li>• ゴール型 5年～6年</li> </ul>
12	陸上競技 <10時間>	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けつけることができるようにする。リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すこと。	ハードル走 持久走	<input type="checkbox"/> ハードル走に関連して高まる体力を理解している。 <input type="checkbox"/> リズムカルで滑らかにハードルを越すことができる。 <input type="checkbox"/> 自己の課題を発見している。 <input type="checkbox"/> 運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 <input type="checkbox"/> 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 走の運動遊び⑥⑦ 1年～2年</li> <li>• 跳の運動遊び③④ 3年～4年</li> <li>• 幅跳び④⑤</li> <li>• ハードル走④</li> <li>• 走り幅跳び④</li> <li>• 走り高跳び④ 5～6年</li> </ul>
1	球技 ゴール型 サッカー <8時間>	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようになる。また、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようになる。	サッカー	<input type="checkbox"/> 技術や戦術の名称やポイントを理解している。 <input type="checkbox"/> コントロールしたパスやシュートをすることができる。 <input type="checkbox"/> 守備者とボールの間に自分の身体を入れてボールをキープすることができる。 <input type="checkbox"/> 空間をつくったり使ったりする動きをすることができる。 <input type="checkbox"/> 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 <input type="checkbox"/> 練習やゲームなどに積極的に参加している。 <input type="checkbox"/> 作戦などの話合いに参加している。 <input type="checkbox"/> 健康・安全に気を配っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年～4年</li> <li>• ゴール型ゲーム⑩ 5年～6年</li> <li>• ゴール型サッカー⑦</li> </ul>
2	球技	勝敗を競う楽しさや喜び	バレーボール	<input type="checkbox"/> バレーボールの特性や技術の名称などを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネット型 3年～4年</li> </ul>

	ネット型バレーボール 〈8時間〉	を味わい、基本的なボール操作と仲間と連携した動きで攻防を展開できるようにする。また、作戦などについての話し合いに参加することや健康や安全に気を配ることができるようにする。		<p>○トス、レシーブなど基本的なボールの操作ができる。</p> <p>○定位置に戻るなどの動きを理解している。</p> <p>知</p> <p>○攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>○自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>進</p> <p>○練習やゲームなどに積極的に参加している。</p> <p>○作戦などの話し合いに参加している。</p> <p>○健康・安全に気を配っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット型バレーボール 5年～6年</li> </ul>
3	ダンス 〈5時間〉	感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージを捉えた表現や踊りを通して交流ができるようにする。リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊る。	現代的なリズムのダンス	<p>知</p> <p>○ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解している。</p> <p>○リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊っている。</p> <p>進</p> <p>○表現などの自己の課題を発見している。</p> <p>○自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>進</p> <p>○仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>○交流などの話し合いに参加している。</p> <p>○一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現リズム遊び 1・2年</li> <li>・表現 3～6年</li> </ul>
4 3	保健 〈16時間〉	個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。健康についての自他の課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	健康な生活と病気の予防①  心身の発達と心の健康	<p>知</p> <p>○健康は主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解している。</p> <p>○心身の機能の発達と心の健康について理解している。</p> <p>進</p> <p>○課題を発見し、その解決に向けて思考し判断している。</p> <p>○思考し、判断したことを表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育ちゆく体と私④ 4年</li> <li>・心の健康④ 5年</li> </ul>
11	体育理論 〈3時間〉	運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなど必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生み出されてきたことを理解する。自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えられるようになる。学習に積極的に取り組むこと。	スポーツの多様性	<p>知</p> <p>○運動やスポーツが多様であることを理解している。</p> <p>進</p> <p>○自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>進</p> <p>○学習に積極的に取り組んでいる。</p>	

# 技術・家庭科 《第1学年技術分野》年間指導計画

## 技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

## 技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

(例) 知は生活や技術についての知識・理解・技能、思は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、主は主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	ガイダンス <1時間>	技術と生活、環境との関わりを考えさせる。	① 技術と私たちの生活 ② 技術分野の学習	知 技術と生活の關係に気付き技術に役割に関心を示している。	環境学習との関連
5	A 材料と加工の技術 <21時間> 製作のための技能(金属) 身の回りの製品の設計	<製作のための技能(金属)> 技術が生活の向上と産業の発展に果たす役割を考える。 材料の特徴と利用方法を知る。 使用目的に即した製品の設計ができる。	<製作のための技能(金属)> ① ものづくりの進め方 ② 様々な材料の特徴、材料と環境 ③ 設計の進め方 ④ 製品の目的と機能、構造 ⑤ 材料と加工法 ⑥ 構想のまとめと製図	知 技術と生活の關係に気付き技術に役割に関心を示している。 技術の進展と環境との關係について関心を示している。 新しい発想を生み出し活用しようとしている。	図画工作5年生 実習例「自由に切った形から発想したものや用途を考えたいものを作る。」などでの使用する工具や加工法との関連
6	B 生物育成の技術 <8時間>	生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る	① 生物育成とは ② 作物や家畜などの特性と生物育成技術 ③ 生育の規則性と技術 ④ 土づくり、肥料 ⑤ たねまき、育苗と植えつけ(定植) ⑥ 定植後の管理 ⑦ 収穫の方法と保存、収穫後の管理 ⑧ 栽培計画	知 光、大気、温度、水、土、他の生物などのいろいろな環境要因が生物の成長に与える影響についての知識を身に付けている。	(5年理科) 「植物の成長と日光や水とのかかわり」 「生物とのかきょう」
7	1学期 ナスの栽培			主 目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから、種類、資材、育成期間などを比較・検討した上で、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。	
8	2学期 キクの栽培			思 計画に基づき、適切な用具等を用いて合理的な管理作業ができる。	
9	A 材料と加工の技術 製作のための技能(金属) 身の回りの製品の製作	<製作のための技能(金属)>加工法と工具、機器の安全な利用ができる。 工程表にそって製品の製作ができる。 安全に作業が進められる。	⑦ 部品表と製作工程表、製作の準備 ⑧ けがき ⑨ 切断 ⑩ 切削 ⑪ 部品の検査、組み立て ⑫ 接合、点検 ⑬ 仕上げ	主 環境や作業の安全に配慮して製作しようとしている。 常に正しい作業と作業効率を考え製作を進めている。	
10				思 加工に関する課題を明確にしながらか製作を進め、適切な解決策を見出している。	
11				主 製作図を基に、材料取り、部品加工、組立、仕上げができる。	
11	A 材料と加工の技術 製作のための技能(金属) まとめ <1時間>	<製作のための技能(金属)>製作に関する評価・活用ができる。 製作の効率を考慮することができる	⑭ 製作のまとめと材料の加工と私たちの生活	主 材料にあった加工法や製作の進め方の知識を身に付けている。 材料と加工に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに適切な解決策を示そうとしている。	
				思 材料と加工に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするともに適切な解決策を見出している。	
12	D 情報の技術 <5時間>	コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。	① 情報と私たちの生活 ② コンピュータの構成 ③ 情報を処理するしくみ	知 情報社会で適正に活動しようとしている。 情報利用の新しい発想を活用しようとしている。	小学校総合的な学習の時間 探究的な学習活動における学習

1		<p>情報利用の基本的な仕組みを知る。 著作権、情報発信の責任を知り、情報モラルを考慮することができる。 コンピュータを使った情報の利用ができる。</p>	<p>④デジタル化と情報の量 ⑤情報を伝える仕組み ⑥ネットワークの安全性と情報モラル ⑦コンピュータの基本操作 ⑧デジタル作品の構想</p>	<p>【意】 情報に関する技術を利用して場面に 応じて活動できる。 デジタル作品の使用目的や使用条件に 適したメディアやデジタル化の方法を 選択できる。</p>	<p>課程 「情報の収集」 「整理・分析」 「まとめ・表現」 の各活動との関連</p>
2				<p>【行】 デジタル作品の設計や制作の計画 ができる。 適切な機器とソフトウェアを利用して 情報の表現や発信ができる。</p>	<p>図画工作5、6年生の課題で利用 する</p>
3				<p>【知】 情報に関する技術が社会や環境に 果たしている役割と影響を理解している。 コンピュータを構成する主な装置と 基本的な情報処理の仕組みについての 知識を身に付けている。 著作権や発生する可能性のある問題 と情報発信者の責任についての知識 を身に付けている。 適切なソフトウェアを利用する知識 を身に付けている。</p>	<p>「デジタルカメラ、パソコン、プロ ジェクタ、スキャナ、画像処理ソフト ウェア」などとの関連</p>

# 技術・家庭科 《第1学年家庭分野》年間指導

## 技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

## 家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術をするとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

★**知**は生活や技術についての知識・理解・技能、**思**は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、**主**は主体的に学習に取り組む態度

月	題材名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4 5	B食生活 食事の役割と食習慣 <4時間>  中学生に必要な栄養を満たす食事 <6時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食習慣と健康について考える。</li> <li>自分の食生活を振り返り、課題を見付ける。</li> <li>5つの栄養素、水の働きを知る。</li> <li>様々な食品を栄養的特徴により6つの食品群に分類する。</li> <li>中学生に必要な栄養素を知る。</li> <li>食品群別摂取量を知り、中学生の栄養的特徴に気付く。</li> <li>食品群別摂取量を元に、献立を考えることができる。</li> <li>献立作成の条件と手順を確認する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 食事の役割</li> <li>② 健康によい食習慣</li> <li>① 中学生の発達と必要な栄養</li> <li>② 異様そのはたらきと6つの基礎食品群</li> <li>③ 栄養バランスを目で見て判断</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中で食事が果たす役割について理解している</li> <li>健康によい食習慣について理解している。</li> <li>中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養的特徴がわかる。</li> <li>食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。</li> <li>中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気な毎日と食べ物(家庭)</li> <li>くふうしよう楽しい食事(家庭)</li> <li>はじめてみよう</li> <li>クッキング(家庭)</li> </ul>
6 7	さまざまな食品とその選択 <5時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生鮮食品の特徴がわかる。</li> <li>目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。</li> <li>加工食品の特徴がわかる。</li> <li>目的に応じて加工食品を選択できる。</li> <li>食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心を持って選択できる。</li> </ul>	食品が食卓にのぼるまで <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生鮮食品の選択と保存</li> <li>② 加工食品の選択</li> <li>③ 食品の安全と情報</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活と関連づけ、用途に応じた生鮮食品、加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。</li> <li>食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。</li> <li>よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</li> </ul>	
9 10	日常食の調理 <4時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。</li> <li>おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。</li> <li>肉、魚、野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、調理することができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 調理の計画</li> <li>② おいしさと調理</li> <li>③ ますます好きになる肉の料理</li> <li>④ こんなにおいしい魚の調理</li> <li>⑤ 好きになる野菜の調理</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1食分の献立について、安全と衛生に留意し食品の組み合わせを考え、工夫している。</li> <li>食品の選択を既習の学習内容を活用して考え工夫している。食品や調理用具などの適切な管理ができる。</li> <li>調理の目的や食材にあった基本的な調理操作ができる。</li> <li>安全と衛生に留意し衛生的な調理室の使い方や調理器具の取り扱い方を考えようとしている。</li> <li>食品や調理用具の安全と衛生に留意した取り扱い方について理解している。</li> <li>肉、魚、野菜の調理上の性質を理解している。</li> <li>食品の選択を既習の学習内容を活用して考え工夫している。</li> </ul>	

11	地域の食文化 <3時間>	地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。	地域の食文化	知恵王	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で生産されている野菜に関心を持っている。</li> <li>日本の食糧事情を理解し、これからの食生活の課題を考えることができる。</li> <li>安全と衛生に留意し、食品や調理用具などの適切な管理ができる。</li> <li>地域の食材を利用することの意義を理解している。</li> </ul>	
12	C 消費生活・環境 家庭生活と消費 <3時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の購入の際に、情報の必要性に気づき、情報を集めることができる。</li> <li>商品の購入の際に、情報の必要性に気づき、情報を集めることができる。</li> <li>購入時の情報となる表示やマークについて知る。</li> <li>販売方法・支払い方法の種類や特徴について知る。</li> <li>商品を購入することは売買契約にあたり、権利と責任があることを理解する。</li> <li>トラブルを防ぐための注意点や解決方法を知る。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>消費生活の仕組み</li> <li>家庭生活における収入と支出</li> </ol>	知恵王	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な販売方法に関心を持ち、利点や問題点・収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入および活用について考え工夫している。</li> <li>物資・サービスの選択、購入および活用に関する知識を身につけている。</li> <li>中学生に関わり深い販売方法の特徴を理解している。</li> <li>消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上手に使おう、ものやお金のよさ</li> </ul>
1	購入・支払いと生活情報 <4時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。</li> <li>売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。</li> <li>生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的にあった商品を選ぶことができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>いろいろな購入方法</li> <li>購入前に知っておくこと</li> <li>いろいろな支払い方法</li> <li>情報を活用した上手な購入</li> </ol>	知恵王	<ul style="list-style-type: none"> <li>購入方法や支払い方法の特徴がわかり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。</li> <li>物資・サービスの購入について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現する。</li> <li>計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫創造し、実践しようとしている。</li> </ul>	
2	消費者被害と消費者の自立 <3時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。</li> <li>消費者を支える仕組みについて理解できる。</li> <li>消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>なくならない消費者被害</li> <li>消費者を支えるもの</li> <li>消費者の権利と責任</li> </ol>	知恵王	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者被害の背景とその対応について理解している。</li> <li>自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現する。</li> <li>消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返り改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者被害と消費者の自立 &lt;2時間&gt;</li> </ul>
3	持続可能な社会 <3時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響日手理解する。</li> <li>環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。</li> <li>持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>消費者行動が社会に与える影響</li> <li>消費者行動が環境に与える影響</li> <li>世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ</li> </ol>	知恵王	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の消費生活が環境に与える影響について理解している。</li> <li>自分や家族の消費生活について、環境に配慮した消費生活について考え、実践を通して自分なりに工夫創造し、実践しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えようこれからの生活（家庭）</li> </ul>



# 令和5年度外国語科 《第1学年》年間指導計画

## 外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことと言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育

## 英語科 第1学年の目標

- (1) 話し手の意向を正確に把握するために、対話や体験談のスピーチなど日常的な話題や海外の生活について話された文章を聞いて、必要な情報を聞き取れるようにする。
- (2) 自分が必要とする情報を得るために、日常的な話題や物語、体験談、文章を読んで、必要な情報を読み取れるようにする。
- (3) お互いに会話を継続させるために、関心のある事柄や体験談、海外の生活などについて、相手からの質問に対してその場で適切に回答したり、関連する質問をしたりしている。
- (4) その場で考えを整理して口頭で説明するために、関心のある事柄や体験したこと、海外の生活などについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。
- (5) 読み手に自分のことを知ってもらうために、関心のある事柄や体験したこと、海外の生活などについて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

★ **知** 知識・技能 / **思** 思考・判断・表現 / **態** 主体的に学習に取り組む態度

【使用領域】 L=聞くこと, R=読むこと, SI=話すこと [やり取り], SP=話すこと [発表], W=書くこと

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	Unit 0 Welcome to Junior High School <7 時間>	小学校で習った表現を使って、自分のことを伝えることができる。	場面の表現	<b>知</b> [技能] 小学校で習った英語表現の理解をもとに、あいさつや先生の指示を聞き取ったりする技能を身につけている。(L・SI)	NHE
		アルファベットの知識をもとに単語を読んだり書いたりすることができる。	英語の音と文字	<b>知</b> [技能] アルファベットの音を聞いて文字がわかり、単語や短い文を書いたりする技能を身につけている。(L・R・W)	
	学び方コーナー ① <2 時間>	英和辞書のしくみについて知り、基本的な使い方を理解する。	辞書の使い方①	<b>知</b> [技能] 英和辞書の見出し語配列についての知識をもとに、辞書で単語をひく技能を身につけている。	
	Unit 1 New School, New Friends <6 時間>	名前や好きなものなどについて情報交換をすることができる。	I am ... I like ...	<b>思</b> 名前や好きなものなどについて、自分の考えや気持ちを、簡単に即興で伝え合ったり発表したりしている。(SI・SP)	be 動詞、一般動詞 NHE 6 年 Unit 1, 2, 6
出身地や好きなスポーツなどについてたずねたり答えたりできる。		Are you ...? Do you ...?	<b>思</b> 出身地や好きなスポーツなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしている。(SI)		
5	Unit 2 Our New Teacher <6 時間>	できることやできないことについてたずねたり答えたりすることができる。	can の文	<b>思</b> できることやできないことについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしている。(SI)	助動詞 can NHE5 年 U 4、 6 年 U 3
		身近な人やものについて紹介することができる。	This /That/ He/ She/ is. Is that [this] ?	<b>思</b> 身近な人やものについて、簡単な語句や文を用いて情報を即興で伝え合ったり話したりしている。(SI・SP)	This is ... NHE6 年 U 1
	Grammar for Communication 1 <3 時間>	人 [もの] がだれ [何] なのかについて、たずねたり答えたりすることができる。	What ...? Who ...?	<b>思</b> 人 [もの] がだれ [何] なのかについて、簡単な語句や文を用いて情報を即興でたずねたり答えたりしている。(SI)	助動詞 can、疑問詞 who NHE5 年 U4, 8
		通学手段や朝食など普段の行動についてたずねたり答えたりすることができる。	How do you ? What do you ?	<b>思</b> 通学手段や朝食などふだんの行動について、簡単な語句や文を用いて情報を即興でたずねたり答えたりしている。(SI)	What do you ? NHE5 年 U 2, 5、6 年 U 5
学び方コーナー ② <2 時間>	つづりと発音の関係を理解し、単語の読み方を推測することができる。	単語のつづりと発音①	<b>態</b> つづりと発音の関係を理解し、知らない単語の読み方を推測しようとしている。		
6	Unit 3 Activities <6 時間>	場所や時についてたずねたり答えたりすることができる。	Where ...? When ...?	<b>思</b> 場所や日時について、簡単な語句や文を用いて情報を即興でたずねたり答えたりしている。(SI)	疑問詞 where, when NHE5 年 U 2, 5、 6 年 U 5
		したいことや夢について伝え合ったりすることができる。	I want to ...	<b>思</b> 希望や夢について、簡単な語句や文を用いて自分の考えや気持ちを即興で伝え合っている。(SI)	I want to ... NHE5 年 U 3、6 年 U 8
6	Grammar for Communication 2 <3 時間>	数をたずねたり答えたりすることができる。	How many ...?	<b>思</b> 簡単な語句や文を用いて、即興で数をたずねたり答えたりしている。(SI)	
		名詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆名詞	<b>知</b> [技能] ものの数などに合わせて、名詞を正しい形で用いる技能を身につけている。	
6	Unit 4 Friends in New Zealand	相手の状況に合わせて、指示や助言をすることができる。	命令文 (Come /Be/ Don' t)	<b>思</b> 道案内などをするために、相手がいる場所や状況を考えて、簡単な語句や文を用いて、即興で指示や助言をしている。(SI)	



月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
	<6時間>	現在の時刻を確認したり、相手の毎日の習慣などについて時刻をたずねたり答えたりすることができる。	What time …?	思 現在の時刻や相手が何かをする時刻を知るために、簡単な語句や文を用いて情報を即興でたずねたり答えたりしている。(SI)	
		どんなものが好きかをたずねたり答えたりすることができる。	What + 名詞 …?	思 相手や自分が好きなことについて、簡単な語句や文を用いて、情報を即興でたずねたり答えたりしている。(SI)	
	Grammar for Communication 3 <4時間>	疑問詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆疑問詞	知 [技能] たずねたい内容に応じて、疑問詞を正しく使い分ける技能を身につけている。	
		場所や人の位置を説明することができる。	前置詞 by / under	思 場所や人の位置を簡単な語句や文を用いて即興で伝え合っている。(SI)	
7	Unit 5 A Japanese Summer Festival <6時間>	好きなことや楽しんでいること、得意なことを伝えることができる。	like …ing/be good at …ing	思 好きなことや楽しんでいること、得意なことについて、自分の気持ちや考えを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合っている。(SI)	be good at …ing NHE5年Unit 8, 6年Unit 8
		聞き手に自分のことを知ってもらうために、自分が体験したことを伝えることができる。	enjoyed, went, ate, saw, had, was	思 聞き手に自分のことを知ってもらうために、自分が体験したことについて、話すことを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(SP)	一般動詞の過去形 NHE6年Unit 4
	Stage Activity 1 “All about Me” Poster <2時間>	自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。	◆既習事項の総復習	思 自分が好きなことについて、情報を整理してつながりのある文章でポスターを書き、おたがいに読んで感想を伝え合っている。(R・SI・W)	
	Small Talk! 1 <1時間>				
9	Unit 6 A Speech about My Brother <7時間>	家族などが好きなことを聞き取ったり、いっしょにすることなどについて話したりすることができる。	◆be動詞、一般動詞、三人称単数現在形	思 家族の名前や得意なことについて話そうとしたり、相手の家族などについて聞き取るようとしている。(L・SP)	あこがれの人の紹介 NHE5年Unit 8
		どのような人かを知るために話の概要を捉えたりすることができる。	三人称単数現在形(肯定文)	思 その人についてのスピーチを聞いたり読んだりして、概要を捉えている。(L・R)	
		家族や身近な人がすることなどについて伝えたり、話の概要を捉えたりすることができる。	三人称単数現在形(否定文)	思 家族や身近な人についてのスピーチを聞いたり読んだりして、概要を捉えている。(L・R)	
		友達などについてのスピーチを聞き取ったり、わかったことを整理して書いたりすることができる。	◆三人称単数現在形(肯定文、否定文)	知 [技能] 三人称単数現在形などを用いて、スピーチの内容を聞き取ったり、わかったことを整理して書いたりする技能を身につけている。(L・SI・W)	
		友達の家族について話の概要を捉え、その情報に追加してたずねたり書いたりすることができる。	三人称単数現在形(疑問文)	思 家族などについての対話の概要を捉え、わかったことをもとにさらに知りたいことを整理してたずねたり書いたりしようとしている。(L・R・SI・W)	
		友達の紹介スピーチをしたり紹介文を書いたりすることができる。	◆三人称単数現在形	思 友達についてスピーチをしたり、そのスピーチについてやり取りしたことを整理して紹介文を書いたりしている。(SI・SP・W)	
	Let's Talk 1 お願い <1時間>	身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。	Can I / you…? ◆be動詞、一般動詞	思 身近な人に許可を求めたり依頼したり、それに適切に応答したりしている。(SI)	
学び方コーナー ③ <1時間>	英和辞書から英文に合った単語の意味を見つけるための使い方を理解する。	辞書の使い方②	知 [技能] 英和辞書の構成要素についての知識をもとに、辞書で英文に合った単語の意味を見つける技能を身につけている。		
Grammar for Communication 4 <4時間>	三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆三人称単数現在形	知 [技能] 家族や身近な人について、その人がしていることや好きなものを、三人称単数現在形を用いて表現する技能を身につけている。		
10	Unit 7 Foreign Artists in Japan <6時間>	自分と相手以外の人が何をする人かを聞き取ったり、質問したりすることができる。	◆三人称の表現 人称代名詞の目的格, Which …?	思 その人が何をする人かを聞き取ったり、その人についてたずねたり答えたりしようとしている。(L・SI)	
		どのような人かをたずねたり答えたりすることができる。	人称代名詞の目的格	思 その人についてのスピーチを聞いたり読んだりして、概要を捉えている。(L・R)	
		どちらであるかをたずねたり答えたりすることができる。	Which …(, A or B)?	知 [技能] 文化や言葉、食べ物などについて、疑問詞 which などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W)	
		人について聞き取ったり、たずねたり答えたりすることができる。	◆人称代名詞の目的格, Which …?	知 [技能] 代名詞や疑問詞 which などを用いて、人について話される内容を聞き取ったり、やり取りをしたり書いたりする技能を身につけている。(L・SI・W)	
		だれのものかをたずねたり答えたりすることができる。	Whose …? mine, yours	知 [技能] 疑問詞 whose などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W)	
	情報を整理して伝え合うことができる。	◆Whose …?, 人称代名詞の目的格	思 その情報を整理して、簡単な語句や文を用いて、やり取りをしたり書いたりしている。(SI・W)		

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
11	Let's Talk 2 体調 <1時間>	相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができる。	What's wrong? — I have ... ◆命令文	思 自分の体調を伝えたり、相手に声をかけたり、適切に応答して指示をしたりしている。(SI)	
	Let's Listen 1 留学生のプロフィール<1時間>	人に関する紹介を聞いて、基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。	◆三人称単数現在形, want to, 人称代名詞目的格	思 その人の基本情報や好きなスポーツなどについて、必要な情報を聞き取ったり、アドバイスを書いたりしている。(L・W)	
	Grammar for Communication 5<3時間>	代名詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆人称代名詞	知 [技能] 人やものについて話題を展開する際に、適切な代名詞を使い分ける技能を身につけている。	
	Unit 8 A Surprise Party <7時間>	誕生日にほしいものを伝えたり、電話での会話から相手がしていることを聞き取ったりすることができる。	◆ When ...?, Which ...? 現在進行形	態 相手が誕生日にほしいものなどの情報をたずねたり答えたり、聞き取ったりしようとしている。(L・SI)	
		今していることを現在の動作について説明することができる。	現在進行形(肯定文)	知 [技能] 今していることについて、人の動作を理解したり伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SP・W)	
		現在の動作についてたずねたり答えたりすることができる。	現在進行形(疑問文)	知 [技能] 今していることについて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W)	
		今していることを伝え合うことができる。	◆現在進行形	知 [知識] 現在進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・SI・W) [技能] 今していることについて、たずねたり答えたり、その状況を書いたりする技能を身につけている。(L・SI・W)	
		自分の感動や驚きを表現することができる。	感嘆文 (How ...!, What ...!)	知 [技能] 自分や相手の気持ちについて、感嘆文などを用いて、感動や驚きを理解したり伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SP・W)	
	今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。	◆現在進行形	思 人が今していることについて、簡単な語句や文を用いてたずねたり答えたりしている。(SI・SP)		
	Let's Write 1 お祝い<2時間>	目的に合わせたカードを書くことができる。		思 カードを読んで、カードを送る目的や相手のことを考えてお礼のカードを書いている。(W)	
	学び方コーナー ④<2時間>	英語の子音の文字と音との関係を知り、英語らしい発音をすることができる。	単語のつづりと発音②	態 日本語の子音との違いに注意しながら、英語の子音の文字と音との関係を知り、英語らしい発音をしようとしている。	
Grammar for Communication 6<4時間>	現在進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆現在進行形	知 [知識] 現在進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 現在の動作や状況について、現在進行形を用いて今していることを伝える技能を身につけている。		
Unit 9 Think Globally, Act Locally <7時間>	したいことやしようとしていることを説明することができる。	◆現在進行形, I want to ,want /try/ need など/to	態 世界の子供たちの実情を知り、将来の夢や希望を伝えるために、今していることやしたいことをたずね合ったり聞き取ったりしようとしている。(L・SI)		
	将来の夢や希望を伝えることができる。	want /try/ need など]/to	態 将来の夢や希望を簡単な語句や文を用いて、理解したり伝えたりしようとしている。(L・R・SP・W)		
	相手のしたいことやする必要のあることをたずねたり答えたりすることができる。	What do you want to ...?	知 [技能] 相手のしたいことやする必要のあることを、不定詞(名詞的用法)などを用いて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W)		
	行きたい国とそこでしたいことをについて、おたがいの考えをたずねたり答えたりすることができる。	◆want to	知 [知識] 不定詞(名詞的用法)を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・SI・W) [技能] 行きたい国について、おたがいの考えを、不定詞(名詞的用法)などを用いてたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・SI・W)		
	人やものの様子を説明するために、視覚的な判断を伝えることができる。	look+形容詞	知 [技能] 人やものの様子について、話し手の視覚的な判断を、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SP・W)		
12	世界や地域の問題について、自分の思いを伝えることができる。	◆want to	思 世界や地域の問題を伝えるために、したいことやする必要のあることについて、自分の思いを伝え合ったり書いたりしている。(SI・W)		
Let's Talk 3 道案内<1時間>	徒歩での道順をたずねたり、教えられることができる。	◆現在進行形, 命令文	思 地図を見て状況を整理し、適切に道案内のやり取りをしている。(SI)	道案内 NHE5年Unit 5	
Let's Listen 2 友達への電話連絡<1時間>	友達にあとで伝えるべき情報を聞き取ることができる。	◆助動詞 can, need to	思 友達に必要な情報を捉えたりメモを取ったりしている。(L)		
Stage Activity 2 My Hero <3時間>	好きな有名人について説明したりすることができる。	◆既習事項の総復習	思 好きな有名人について答えたり、紹介する文章を書いたりしている。(L・R・SI・W)		

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
	Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji <4時間>	図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。	◆既習事項の総復習	図や表などの情報をもとに、まとまりのある文章の概要を読み取っている。(R)	
1	Small Talk! 2 <1時間>				
	Unit 10 Winter Vacation <6時間>	過去にしたことを伝え合うことができる。	◆What do you?— 一般動詞の過去形	毎年していることや過去の出来事をたずね合ったり聞き取ったりしようとしている。(L・SI)	動詞の過去形 NHE6年Unit 4, 7
		過去の出来事を説明することができる。	規則動詞の過去形(肯定文)	[技能] 過去について規則動詞の過去形などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SP・W)	
		過去の出来事を伝えるために、自分がしたことを説明することができる。	不規則動詞の過去形(肯定文)	旅行の思い出などを伝えるために、過去にしたことについて、簡単な語句や文を用いて説明しようとしている。(L・R・SP・W)	
		最近の出来事を伝えるために、自分がしたことを、たずねたり説明したりすることができる。	◆一般動詞の過去形(肯定文)	[知識] 過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・SI・W) [技能] 最近の出来事について、自分がしたことを、過去形などを用いて伝え合う技能を身につけている。(L・SI・W)	
		過去の出来事をたずねたり答えたりすることができる。	一般動詞の過去形の疑問文, 否定文	[技能] 過去形の疑問文などを用いてたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W)	
		過去の出来事をたずねたり答えたりすることができる。	◆一般動詞の過去形	過去の出来事を、簡単な語句や文を用いてたずねたり答えたり書いたりしている。(SI・W)	
	Let's Write 2 旅先からの便り <2時間>	旅先からの絵はがきを書くことができる。	◆一般動詞の過去形	カードを送る目的や相手のことを考えて旅先からの絵はがきを書いたりしている。(R・W)	
	Unit 11 This Year's Memories <7時間>	過去の状態や気持ちなどを伝え合うことができる。	◆一般動詞の過去形, be 動詞の過去形, There is [are], 過去進行形	一年の思い出やその時の状態や気持ちについて、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、聞き取ったりしようとしている。(L・SI)	
		過去の状態や気持ちをたずねたり答えたりすることができる。	be 動詞の過去形	[技能] 一年の思い出について、過去の状態や気持ちを、be 動詞の過去形などを用いてたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W)	
		「…がある」とたずねたり答えたりすることができる。	There is [are] ….	[知識] 「…がある」という文を用いて、たずねたり答えたりしようとしている。(L・R・SI・W)	
		自分の町にある施設を説明することができる。	◆be 動詞の過去形, There is [are] ….	[知識] There is [are] … の文の形・意味・用法を理解している。(L・SI・W) [技能] 自分の町にある施設について、There is [are] … の文などを用いてたずね合い、説明する技能を身につけている。(L・SI・W)	
2		過去の動作について説明することができる。	過去進行形	[技能] 過去のある時点にしていたことについて、過去進行形などを用いて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SP・W)	
		思い出について、英語で日記を書くことができる。	◆be 動詞の過去形, 過去進行形	体験したことや感じたことを、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり書いたりしている。(SI・R・W)	
	Let's Talk 4 レストラン <1時間>	レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。	What would you like? — I'd like, Would you like? — Yes, please. [No, thank you.] ◆be 動詞の過去形	レストランで自分が注文したいものを伝えたり、質問に的確に答えたりしている。(SI)	What would you like? NH5 年 Unit 6
	Let's Listen 3 ラジオ DJ のトーク <1時間>	休暇の思い出など日常的話を聞いて、主な内容を聞き取ることができる。	◆動詞の過去形, There is [are] ….	ラジオ番組でのDJの休暇中の体験やリスナーとのやり取りを聞いて、話の概要を聞き取ったり答えたりしている。(L・SI)	
	Grammar for Communication 7 <4時間>	過去形と過去進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆動詞の過去形, 過去進行形	[知識] 過去形と過去進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 過去の出来事や状態について、過去形や過去進行形を用いて、過去にしたことやしていたことを伝える技能を身につけている。	

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year <3 時間 >	思い出に残った学校行事について発表することができる。	◆既習事項の総復習	思い出に残った学校行事について、情報を整理したり感想を考えたりしながら原稿を作成し、発表のポイントを意識して話している。(L・SI・SP・W)	
	Learning LITERATURE in English <2 時 間>	英語で書かれた文学作品の構成を理解することができる。	◆動詞の過去形、過去進行形	物語の文章構成を意識することで話の概要を捉えたり、話の続きを考えたりしている。(L・R・SP)	
3	Let's Read 2 City Lights	物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。	◆既習事項の総復習	時間の経過や場面の变化に注意してまとまりのある文章から成る物語を読んでいる。(R)	